

Quarterly Report

四半期活動レポート

2023年04月-06月

2023

vol.11

CONTENTS

四半期活動レポート (2023年4月-6月)

P. 01 > **Fukuoka Smart City Communityについて**

P. 02 > **進捗のご報告**

① 「FSC MeetUP!」 第一回開催

■ 各班発表内容

P. 03 > ■ **参加者の声**

▶ 株式会社グッデイ 店舗運営部 神崎さん

▶ 西部ガスホールディングス株式会社 事業開発部 小野さん

▶ 西鉄バス北九州株式会社 営業本部 三田さん

▶ 株式会社福岡銀行 営業統括部 森永さん

P. 04 > ▶ **主催企業**
西部ガスホールディングス株式会社 事業開発部 小川さん

② 「ペット防災」啓蒙活動

■ 活動一覧

P. 05 > **その他の共創プロジェクト**

■ 長浜屋台街DX プロジェクト

▶ 主な施策

P. 06 > **定例での活動について**

▶ 全体会議 (毎月1回)

▶ 「プロジェクトF」

Fukuoka Smart City Community について

次の100年も、みんなで福岡をつくるんだ

これまでの100年で、福岡は大きく成長を遂げました。

まちに誇りを持ち、よりよくするための声を唱えてきた市民、
暮らしの基盤となるサービスを生み出してきた企業、
自治体や学校も、みんなでつくってきたのが今の福岡です。

私たちFukuoka Smart City Communityは
次の100年もそうであって欲しいと願い、
みんながまちづくりに携わる場や機会をつくります。

日々、多くの市民と接する企業が集まる多様なコミュニティだからこそ、
今後ますます複雑化するまちのニーズに丁寧に向き合いたい。

デジタルに限定しない解決策をみんなとともに考え、解決していくことで、
福岡が100年先も選ばれるまちになることに貢献します。

私たちが大切にすること

市民のニーズをもとに、 持続的な地域社会貢献に 取り組む

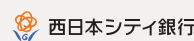
福岡に根ざす企業・自治体(オブザーバー)
の共同事業体として、市民の納得・満足を
追求しながら活動し続けます。

自治体/企業/市民の セクショナリズムを超える

異なる専門知識やスキル、バックグラ
ウンドを持った企業が組織や役割を超え
てより高い価値を提供します。

抽象的な議論より具体的な アウトプットを重視する

各企業のアセット活用などデジタルに
限定しない柔軟なアイデアで、市民のため
にできることをどんどん実行します。



※福岡市は
オブザーバーとして参画

博多や天神といった主要エリアの再開発が進む福岡のまちは、現在大きな変化の真っ只中にあります。
そして、長く続く感染症の流行も新たなフェーズに移行しようとしている2023年春以降は、その変化がより一層加速して
いくことが予想されます。そんな過渡期にある福岡で、FSCは発足3年目を迎えました。私たちはこれからも、その時々
のまちや市民のニーズと向き合い、課題を解決したり可能性を広げたりすることを目指して施策の実施を進めてまいります。

Because it is a diverse community where companies that come in contact with many citizens every day,
We would like to carefully meet the needs of the town, which will become more and more complex in the future.
Shūjūhokoku no Takaraba ni, seisei no shūjūhokoku ni, shūjūhokoku ni, shūjūhokoku ni, shūjūhokoku ni, shūjūhokoku ni.

Community

Smart City

進捗のご報告

1

「FSC MeetUP!」第一回開催

人材交流



若手社員の越境交流の場として「FSC MeetUP!」を開催しました。この取り組みは、所属会社の垣根を超え、異なる価値観を交えることで、「新たなアイデア」と「人のつながり」を生み出そうとするものです。第一回目のテーマは「子育て×職場×FSC」です。FSC会員企業、団体の20~30代の社員18名が参加し、職場における子育ての課題と解決策について話し合いました。

第一回テーマ

職場における子育て

- Q1 会社・職場における子育ての課題は？ Q2 その課題の原因ってなんだろう？
Q3 子育てがしやすいあるべき職場の姿とは？ Q4 その職場の実現に向けてイチ社員としてできるアクションは？

注目すべきは参加者が若手社員中心で必ずしも「子育て中」の社員ばかりではなかったことです。その中でも各自見たものや、人に聞いた話で想像を膨らませ沢山の意見が交わされました。それぞれ各班から出た意見を共有し、最終的に班で一つ決めた「子育てがしやすいあるべき職場の姿と、その実現に向けてできるアクション」を発表しました。



▶各班発表内容

A班



心に余裕を生む職場づくり

#オフィス環境

デスクに可愛いものを置くと話しかけやすいかも

B班



「気まずい…」を感じさせない

#あいさつ #申し訳ないをやめよう

あいさつはもちろん「ありがとう」で感謝の気持ちを伝える
育児中の社員がいるチームには「仕事サポート手当」
みたいな制度もあり

C班



柔らかい(ヤワな)チームづくり

#姿勢・雰囲気

急な子どもの体調変化にも、会社やチームで柔軟に対応
まずは表情から柔らかくして「ヤワな雰囲気」をつくらう

D班



私が制度変えます!

#制度改革

2人1組での業務や、メンバーの休暇取得状況を管理者の
評価項目にするなど、自ら提言し「変革を起こしたい人」が
会社制度の改革にチャレンジ



異なる職場環境で働く社員同士が集まり、ディスカッションをすることで、その場にいた全員にとってたくさんの気づきがありました。子育てしやすい職場をつくるための方法はひとつではなく、様々な立場や意見を尊重しながら、それぞれで行動していくことができるということが明らかになりました。参加した若手社員からは「普段は異業種同士で意見を交わす機会はほとんどないので、大変貴重な時間になった。」などの声を聞くことができました。

～参加者の声～



株式会社グッデイ 店舗運営部 神崎さん

私は普段店舗で働いているので、今回他の会社の方の本社や支社勤務など様々な働き方を知ることができ、大変良い交流の機会となりました。次回も是非参加したいです。



西部ガスホールディングス株式会社 事業開発部 小野さん

九州のインフラを支える他企業の方々と交流をする中で、異業種での交流だからこそ出てくるアイデアに触れることができ、大変学びの多い時間でした。今回出た多様性のあるアイデアを職場に持ち帰り、私たちにできることを実行することで、子育てをしやすい雰囲気を自ら醸成していきたいです。



西鉄バス北九州株式会社 営業本部 三田さん

最近男性の先輩で育休を取られた方がいましたが、それを社内広報誌で大々的に取り上げられているのを見て、会社全体で休暇を取りやすい環境を整えてくれていると感じました。今回、他の会社の制度を知ること、改めて自分の会社のいいところも知ることが出来ました。



株式会社福岡銀行 営業統括部 森永さん

この4月から支店から本社に異動してきましたが、社内の異動でさえも勤務体制や休暇の取り方が全く異なっていました。会社や業界が違えばもちろん制度も違うし、今回銀行にはない良さも知れたので、部署に持ち帰って共有し、更に制度改革にもチャレンジしていきたいです！

Because it is a diverse community where companies that come in contact with many citizens every day. We would like to carefully meet the needs of the town, which will become more and more complex in the future.

Community

● 事後アンケート

■ 大変満足
 ■ 満足
 ■ 普通



● 主催企業

西部ガス
 ホールディングス株式会社
 事業開発部 小川さん

「FSC MeetUP!」は「越境」をキーワードに、FSC会員企業に所属する若手社員が交流できる場をつくりたいと思い企画しました。私自身、入社後から少しずつですが意識して、部署や会社という枠組みを越境し、多くの人と繋がってきました。その繋がりが今まさに仕事をしていく上で大きな力や支えとなっています。MeetUP!第1回目は満足度95%と、かなり好評をいただいています。第2回目も実施予定で、この2回のトライアルを踏まえ、どのような場づくりが最適かを検証し、本実施につなげていきます。このように越境し、交流する場をつくるのにFSCはうってつけです。いつかこの取組みから面白いコラボレーションが生まれたら最高だと思います。

2

「ペット防災」啓蒙活動

防災

■ 総数約1.1万票の投票結果を受け1位に選ばれた「ペット防災」の啓蒙活動



FSCでは、総投票数1.1万票の中から「防災選」*1で1位に選ばれた「ペット防災」について、監修者によるセミナーの実施やペット情報カード*2の配布を通して、引き続き啓蒙活動を行っています。

*1 FSCが取り組む防災課題をオンライン投票形式で決定する市民参加型プロジェクト(2022年3月~4月実施)

*2 ペットと飼い主の情報を記載して持ち運べる名刺サイズのカード

活動一覧

「福岡市動物の愛護と管理推進協議会」
令和4年度第1回協議会への参加

● 当企画監修、富士岡剛氏が福岡市主催の協議会へ参加し、Fukuoka Smart City Communityでのペット防災施策について言及。

福岡市議事録：

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/111032/1/gijiroku.pdf?20230523181704>

富士岡剛氏：一般社団法人 HUG(熊本市)代表理事および、特定非営利活動法人ペット災害危機管理士会西日本支部長



その他の共創プロジェクト

■長浜屋台街DX プロジェクト 観光・まちの魅力

FSC会員:LINE Fukuoka株式会社/オブザーバー:福岡市



LINE Fukuoka株式会社と福岡市は共働り、福岡市中央区長浜の屋台街(以下 長浜屋台街)で、LINEを活用した「長浜屋台街DXプロジェクト」を2023年6月30日に始動しました。屋台に設置されたAIカメラが屋台内の客数を把握し、混雑度合いをLINE公式アカウント上に表示する取り組みなどを行っています。歴史ある長浜屋台に、デジタル技術を融合させ、新たな歴史と文化をつくることを目指すプロジェクトです。市の繁華街から少し離れた長浜屋台街をLINE公式アカウントを活用して便利にすることで、市民や観光客を呼び込んで盛り上げていきます。福岡市が運用する屋台のLINE公式アカウント「FUKUOKA GUIDE」を活用します。

イベントHP : <https://yokanavi.com/newyatai/>

◀ 主な施策 ▶

AIカメラを活用した混雑状況の可視化

屋台内に設置されたAIカメラが、3分ごとに屋台内の画像を撮影・解析し、客数を数えて混雑状況を判断し、LINE公式アカウント上で混雑度合いをアイコンで表示します。

AIが混雑度を解析し、パーセンテージに応じて3段階で表示



IoT機器の活用による営業状況の表示

屋台内に設置されたIoT機器に電源が入ると、自動的に屋台のLINE公式アカウントのシステムが感知し、「まもなく営業開始」や「営業中」などの3つの営業状況がLINE公式アカウント上に表示されます。

IoT機器の活用による営業状況の表示



その他、LINE公式アカウントでおすすめメニューや料金などが表示され英語にも対応しています。また期間限定で、LINE公式アカウントのショッピングカードを活用した「スタンプラリー」を実施しています。長浜屋台街で飲食した人は、各屋台に掲示されている二次元コードを読み取ってポイントを獲得でき、限定ステッカーやおすすめの一品がもらえる特典チケット(長浜屋台街利用限定)がもらえます。

詳細はこちら : <https://linefukuoka.co.jp/ja/pr/news/2023/063011>

定例での活動について



※写真はイメージです

▶全体会議(毎月1回)

会員企業の担当者全員が一堂に会する全体会議を毎月1回実施。各社のアセットや知見を共有しながら、注力テーマに沿った企画や具体的な施策案についてディスカッションを行なっています。

4~6月期には以下の日程にて実施しました。

● 4月6日(木) ● 5月11日(木) ● 6月1日(木)

▶「プロジェクトF」

毎月の全体会議にて、各社持ち寄りで見聞を共有するプロジェクト。今回のテーマは「ESG・SDGs」。

4~6月期には以下の企業が発表を行いました。

- 5月: LINE Fukuoka株式会社「LINE FukuokaのSDGs ESGの取り組みについて」
- 6月: 九州旅客鉄道株式会社「ABURAYAMA FUKUOKA」

市民を取り巻く環境が目まぐるしく変化する昨今において、課題解決を行うための鍵は、「0→1で何か新しいサービスを創り上げていくこと」よりも、会員企業が持つ「既存のアセットやデータを有効活用し、スピード重視でアウトプットしていくこと」であると考えています。今後もFSCでは、強固な協力体制で複雑化するまちのニーズへ丁寧に向き合い、解決策を社会実装することを通して、福岡が100年先も選ばれるまちになることに貢献してまいります。

(Fukuoka Smart City Community 概要)

名称 / Fukuoka Smart City Community

事務局所在地 / 福岡県福岡市博多区博多駅中央街8-1 JRJP 博多ビル 12F

設立日 / 2020年10月14日

主な事業内容 / 市民参加型のスマートシティの実現に向けた、情報収集、情報共有、相談、イベント開催、サービス提供・開発及びPRの機会の提供

サイト / <https://fukuoka.smartcity-community.jp>